あいのり

Monthly

2026.10.30

10月のマーケット概要

10月初めは米長期金利が一時5.3%台と25年ぶりの高水準をつける中、株式は底堅く推移していましたが、中旬に発表された米CPIが予想を上回ったことを受けて、それまで上昇を牽引していたAI関連銘柄を中心に指数も大きく売られました。これに伴い、借入を中心に資金調達をしてきたネオクラウド銘柄の社債の価格が大きく下落し、また欧州でも、フランスの財政負担と債務返済懸念からドイツ国債とのスプレッドが歴史的な開きをみせ、信用不安が高まりました。月末にかけては、大手テック企業の決算でAI投資の負担と回収時期への懸念の強まりや、米中間選挙の不透明感も重なり、月末にかけ株式市場は大きく下落しました。下旬に開催されたFOMCでは大方の予想通り、政策金利は3.75%～4.00%で据え置かれ、議長の会見では、インフレへの対応責任を強調する一方、先行きについてはデータ次第とし、今後のFOMC運営見直しも発表しました。また月末に開催された日銀金融政策決定会合では、政策金利は1.25%で据え置かれましたが、基調物価上昇率の2%到達の認定とETF売却の加速を打ち出しました。

為替については、ドル円が157円～158円の狭いレンジで推移する一方、ユーロが対ドルで下落したため、ユーロ円は176円台でやや円高で推移しています。

このような環境の中、弊社ファンドは10月の調整局面の可能性を想定し、キャッシュ比率を引き上げておりました。長期金利の行方や信用不安による経済への影響を見極める必要はありますが、米経済や企業業績が引き続き好調で、AIへの需要は引き続き非常に強いことから、今回の調整局面は中期的な買い場というシナリオは変わらず、大きく下落した場面ではポジションを構築していく予定です。

左記のQRコードよりXアカウントにアクセスいただけます。
パリミキアセットマネジメント【公式】
@PM_Asset

（2026年11月2日）

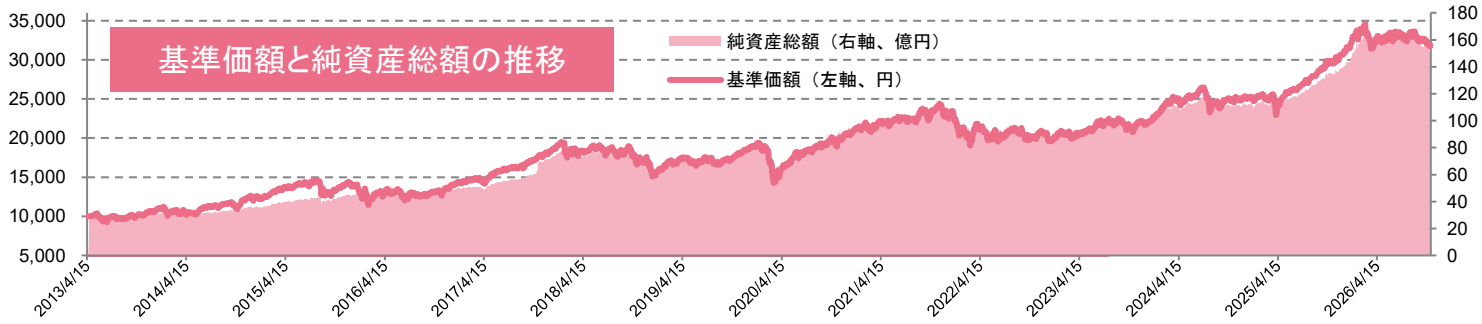
パリミキアセットマネジメント
取締役チーフインベストメントオフィサー
宇野 隆一郎





PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT

コドモファンド
変幻自在ずーっとおまかせ



期間別騰落率（%）

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
−1.60%	−2.21%	−1.83%	1.20%	7.25%	53.27% （複利年率） （15.30%）	35.10% （複利年率） （6.20%）	139.18% （複利年率） （9.11%）	218.56% （複利年率） （8.93%）

コドモファンド概況

基準価額	31,856円	設定日	2013年4月15日
純資産総額	15,217百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ（1年）	9.94%	決算日	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）
投資信託財産の構成比率	パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド：99.76%　現金等：0.24%　（合計：100.00%）		

コドモファンドにかかわる費用

運用管理費用 （信託報酬）	年1.10%（税抜1.00%） マザーファンドの組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担：年1.75±0.5% 程度（税込）

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド　2025年9月1日設定

【10月の運用コメント】

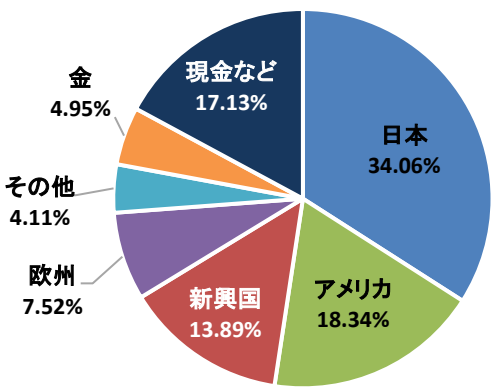
基準価額は月間で▲1.51%となり、年初来で+2.14%となりました。
コドモファンド（1年リターン：7.25%、ボラティリティ（1年）：9.94%、シャープレシオ：0.61）
個別ファンドの騰落率については、上昇に寄与したのは、エネルギーETFが騰落率で+11.79%、欧州株式のコムジェスト・ヨーロッパが同+3.17%などでした。下落に影響したのは、日本株アクティブファンドのポリマー日本株式が騰落率で▲2.35%、新興国株式のコムジェスト・エマージングが同▲8.80%、ピクテゴールドが▲3.53%、金鉱株式のコンウェーブ・ゴールドが同▲7.54%などでした。
10月の売買は、月末にETFの日経225やナスダック100などを購入した一方、東欧諸国株式のトリゴンを一部売却し、キャッシュ比率は17.13%（前月比▲4.17%）となりました。
為替が、対ドルで約0.19円（0.12%）円安、対ユーロでは約2.08円（1.17%）円高へ推移しましたが、為替ヘッジによりポートフォリオのパフォーマンスには影響を与えなかったこととなります。現状の外貨資産リスク（42%）に対する為替ヘッジ率は、76%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは10%です。

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンドの概況

純資産総額	15,620百万円	組入ファンド数	全22本

資産構成比率

国別



組入れファンド TOP10	組入れ比率	基準価額前月比
モーラント・ライト	10.67%	−0.89%
トリゴン	9.44%	−2.05%
ポリマー日本株式	8.94%	−2.35%
Trinity Street	6.63%	−0.69%
Invesco QQQ Trust Series 1	6.38%	−2.94%
ピクテ・ゴールド（為替ヘッジ付き）	4.95%	−3.53%
NF日経225	3.90%	−1.34%*
ニッポングロース	3.67%	−3.44%
エネルギー・セレクト・セクター ETF	3.63%	11.79%
コムジェスト世界	2.51%	0.34%

＊月初時点では未投資のため、投資開始日との騰落率を記載

浪花おふくろファンド
じっくりどっしり長期運用

【10月の運用コメント】

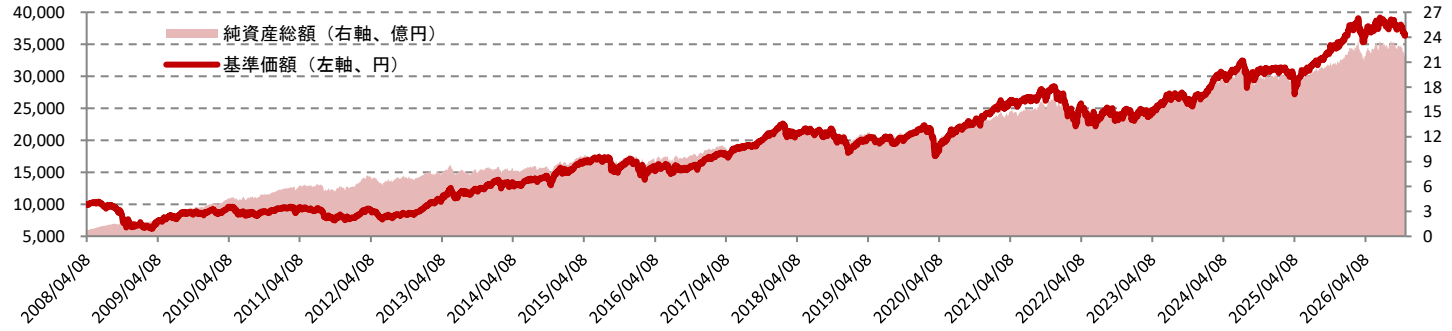
基準価額は月間で▲2.77%となり、年初来では+0.02%となりました。
（1年リターン：5.52%、ボラティリティ（1年）：10.90%、シャープレシオ：0.39）

個別ファンドの騰落率について、上昇に寄与したファンドは、エネルギーETFが騰落率で+11.79%、欧州株式のコムジェスト・ヨーロッパが同+3.17%などでした。下落の影響があったのは新興国のコムジェスト・エマージングが騰落率で▲8.80%、日本株アクティブファンドのポリマー日本株式が同▲2.35%、ナスダック100ETFが同▲4.34%、東欧株式ファンドのトリゴンが同▲2.05%、などでした。

10月中の売買は、月末にETFの日経225や半導体関連ETFを購入した一方、ETFのナスダック100などを一部売却しました。キャッシュ比率は12.55%（前月比▲5.7%）となりました。

為替が、対ドルで約0.19円（0.12%）円安、対ユーロでは約2.08円（1.17%）円高へ推移したことにより、ポートフォリオのパフォーマンスをヘッジ後で0.07%引き下げたこととなります。現状の外貨資産リスク（49%）に対する為替ヘッジ率は68%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは16%です。

基準価額と純資産総額の推移



期間別騰落率（%）

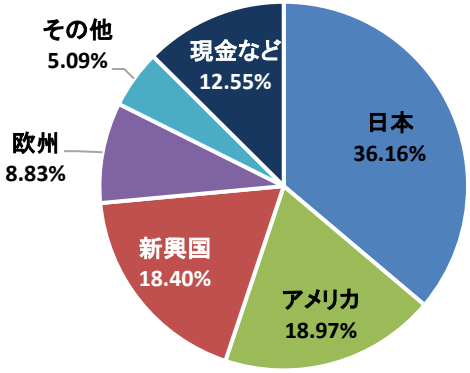
1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
					44.45%	31.82%	126.00%	265.20%
−2.77%	−2.72%	−2.15%	0.02%	5.52%	（複利年率）（13.04%）	（複利年率）（5.67%）	（複利年率）（8.49%）	（複利年率）（7.22%）

浪花おふくろファンド概況

基準価額	36,520円	設定日	2008年4月8日
純資産総額	2,186百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ（1年）	10.90%	決算日	毎年3月3日（休業日の場合は翌営業日）

資産構成比率（組入ファンド全18本）

国別



組入れファンド TOP10	組入れ比率	基準価額前月比
ポリマー日本株式	15.06%	−2.35%
トリゴン	11.95%	−2.05%
シンプレクス中計	7.68%	−1.81%
Trinity Street	6.40%	−0.69%
コムジェストEM	5.24%	−8.80%
Roundhill Memory ETF	4.88%	−4.68%*
コムジェスト世界	4.03%	0.34%
NF日経225	3.90%	−1.34%*
SBIジェイリバイブ	3.65%	0.90%
エネルギー・セレクト・セクター ETF	3.52%	11.79%

＊月初時点では未投資のため、投資開始日との騰落率を記載

浪花おふくろファンドにかかわる費用

運用管理費用（信託報酬）	年0.99%（税抜0.90%） 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担　年1.65±0.5% 程度（税込）

コドモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売は株式会社パリミキアセットマネジメント／金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

「フィジカルAI」時代の覇者は誰だ？



近年、世界を大きく動かしているAIの爆発的な進化。 これからのAIにとっての新たなフロンティアは、ロボットの体を借りて現実世界へ直接介入する「身体性」の領域にあります。画面の中だけで完結するバーチャルの世界から、リアルの世界へ。最近の株式市場においてハードウェア関連銘柄が沸騰している背景には、まさにこうした大きな地殻変動が存在しています。

「神の手」が新しい情報源になる

主役がフィジカルへと移れば、AIが求めるデータの性質もガラリと変化します。これまでAIが学んできたのは、言語化され、ネット上にある「形式知」でした。しかし、生身の人間が関わる現実世界は、それほど単純なものではありません。

たとえば、熟練工が鉄を削る瞬間のコンマ数ミリ単位の力加減、ベテラン介護士が患者の体を支える際の絶妙な間合い、あるいは現場の空気の変化に応じた咄嗟の判断などです。これらは言葉やマニュアルに落とし込もうとしても難しく、人間の研ぎ澄まされた感性でしか伝えられない「暗黙知」そのものです。

では、熟練の職人を多く抱えている企業が、そのまま次の時代の覇者になれるのでしょうか？ 答えは半分が正解で、半分は間違いです。現場にただ匠がいるだけでは決して十分ではありません。真の勝者となるのは、その指先に宿る職人技をセンサーや映像によって可視化し、再現可能なデータへと変換してAIに叩き込む「翻訳の仕組み」を持った企業ではないでしょうか。職人の「神の手」を構造化し、機械が模倣できる形式へと転換できて初めて、他社が真似できない強固な競争優位が生まれます。

日本に巡ってきた飛躍のチャンス

この視点に立ってみると、日本企業は莫大なポテンシャルを秘めていることになります。世界を力強くリードする産業用ロボットや精密機械の実力に加え、ミクロン単位の差異を指先で感じ取る製造業の技能、細部まで磨き抜かれたおもてなしの心、そして繊細な判断を要する医療や介護の現場での経験など、日本社会には、世界でも類を見ないレベルで「人的な暗黙知」という極上のソフトが蓄積されているのです。

しかし、どれほど豊かな宝の山であっても、掘り出さなければ意味がありません。現場の知恵を丁寧に吸い上げ、AIで再現し、さらに現場へフィードバックして進化させていく――このサイクルを継続的に回せる仕組みを築けるかどうかに、企業の命運が分かれます。

新しい時代の「資産」

投資の世界においても、これからは「どの企業が優れたAI技術を持っているか」という問いだけでなく、「どの企業が人間の能力を深く理解し、それをデータ資産として活用できるか」という本質的な問いかけが必要です。

最初は人間がAIに技を授け、AIがそれを学習し、さらに研ぎ澄ませて人間を支え返します。そのプロセスを通じて、特定の人に依存していた属人的な匠の技が、世代を超えて永続的に受け継がれる「再現可能な資産」へと姿を変えていくのです。

フィジカルAIの時代とは、決して機械によって人間が置き去りにされるディストピアではありません。むしろその逆です。優れた人間の身体が持つ途方もない力が、歴史上初めて真の資産として再評価される新しい時代の幕開けでもあります。これからの次のフロンティアは、クラウドの中ではなく、汗をかく泥臭い人間の指先にあるのです。 皆さんはどう思われますか？



(株)パリミキホールディングス
代表取締役会長
多根 幹雄

セミナーやイベントにご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。皆さまからいただいた貴重なご意見は、今後の運営に活かしてまいります。

パリミキアセット運用報告会 2026秋（東京・大阪）

2026年上半期におけるマーケットの概要や当ファンドの運用実績と経緯、欧州出張のご報告などをさせていただきました。報告会後には交流会も開催し、多くのお客様にご参加いただきました。



取締役CIO
宇野 隆一郎





運用報告会【大阪】
10月31日（土）





運用報告会【東京】
10月28日（水）



今後のセミナー・イベントについて

セミナーやイベントの詳細やお申込みは当社ホームページ（https://pmam.co.jp/）をご覧ください。

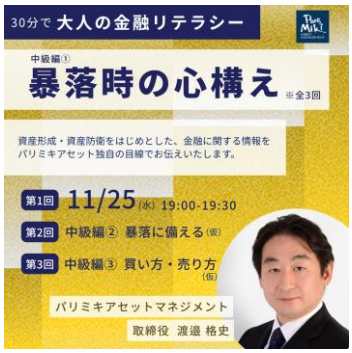


ぷらっと銀座開催のご案内

11/19日（木）10：45～14：00頃

普段なかなか聞くことのできない運用者の話を直接聞いたり、参加者同士で資産運用について語ったり、気軽な交流の時間をお楽しみいただけます。

参加費：無料
※ランチ代は実費（2000円前後）をご負担いただきます。
定員：4名（当社に口座をお持ちの方）



無料WEBセミナー開催のご案内

11/25（水）中級編①：暴落時の心構え

中級編②：暴落に備える（仮）、中級編③：買い方・売り方（仮）などのテーマも予定しています。

※内容は現時点での予定であり、変更となる場合がございます。詳細が決まり次第、当社ホームページや公式LINEにて
ご案内いたします。

QRコードをクリック
またはスマホで読み込み

セミナー・イベントの開催情報をはじめ、皆さまに役立つ情報を当社公式Xや公式LINEでお届けしています。
緊急時などに重要なお知らせを配信する場合がございますので、最新情報をいち早くチェックしていただくためにも、ぜひこの機会にご登録ください！

当社公式X　当社公式LINE

当社利用メール配信サービスへの
不正アクセスに関するお詫びとご報告

このたび、当社メールマガジン等の配信に利用しているメール配信サービス（アララメッセージ）におきまして、2026年11月2日に同サービスを提供するアララ株式会社（以下「アララ」という）から届いた報告により、同社が管理・運用するメール配信サーバーに対して第三者による不正アクセスが発生し、お客様のメールアドレスが外部に流出したことが判明いたしました。

その後、当社よりアララに対して流出データの具体的な内容および影響範囲の特定をするよう要請し、協力して調査を進めてまいりましたところ、今般、アララより調査結果の報告を受領したことから、当社利用サーバー内に保管されていた登録データについて、メールアドレス以外の個人情報につきましても第三者による不正アクセスを受けお客様の情報が外部に流出していたことを最終的に確認いたしました。

日頃より当社を信頼し、電子交付サービス等をご登録いただいているお客様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

流出した情報および影響範囲

アララからの調査結果に基づき確認された状況は以下のとおりです（対象件数：1,447件）。
お客様の登録状況により、流出データが異なっており、該当する方へはメールにて個別にご案内しております。

流出が確認された情報

当社電子交付サービス等にご登録いただいていたお客様の以下の情報
メールアドレス、氏名、性別、生年月日、お住まいの都道府県、口座番号※、口座開設時（以降、変更の申し出があった場合は随時変更）にご登録いただいた金融資産、年収、投資経験の区分を示すコード番号。
※当社がお客様の識別のために内部的に付番している「当社内の連番管理番号（数字）」であり、銀行等の預金口座番号一切関係ございません。したがって、この管理番号のみによってお客様の預金口座から資金が引き出されることはございません。
上記以外の弊社がお預かりしているお客様情報は、アララには登録しておりませんので、流出しておりません。

お客様へのお願い（不審なメールへのご注意）

流出したメールアドレス等を悪用し、当社や実在する金融機関、宅配業者等を装った「不審なメール（なりすましメール・フィッシング詐欺メール）」が届く可能性がございます。
お客様におかれましては、以下の点に十分ご注意くださいますようお願い申し上げます。

・身に覚えのない送信元からのメールや、不自然な件名・日本語のメールに記載されたリンク（URL）は絶対にクリックしないでください。
・添付ファイルを開かないようお願いいたします。
・当社から、メールを通じてお客様の預金口座番号や暗証番号、パスワード等の入力を求めることは絶対にございません。万一、そのような情報を入力させる不審なページに誘導された場合は、絶対に入力せず、速やかに下記窓口までご連絡ください。

本件に関するお問い合わせ窓口

本件に関しまして、ご不安な点やご不明な点がございましたら、誠に恐れ入りますが下記窓口までお問い合わせいただけますようお願い申し上げます。
お客様にはご迷惑をおかけしておりますが、引き続き状況の確認に努めるとともに、情報管理の徹底に取り組んでまいります。

【株式会社パリミキアセットマネジメント お問い合わせ窓口】
・お客様専用通話料無料ダイヤル：0800-5000-968
・受付時間：平日 9:00～17:00（土日祝日を除く）
・E-mail：support@pmam.co.jp
・ウェブサイト：https://pmam.co.jp/

毎月つみたてサービスに関わるスケジュールについて

① 12月分新規・口座変更締切日：11月2日（月）
② 11月分引落日：11月5日（木）
③ 11月分約定（購入）日：11月17日（火）
④ 12月分金額変更/中止/再開締切日：11月24日（火）
⑤ 2027年1月分新規・口座変更締切日：12月2日（水）
⑥ 12月分引落日：12月7日（月）
⑦ 12月分約定（購入）日：12月17日（木）
⑧ 2027年1月分金額変更/中止/再開締切日:12月21日(月)

2026年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 ①	3	4	5 ②	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17 ③	18	19	20	21
22	23	24 ④	25	26	27	28
29	30					

2026年12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 ⑤	3	4	5
6	7 ⑥	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17 ⑦	18	19
20	21 ⑧	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話・マイページ上（再開を除く）でも承っております。
再開につきましては書類でのお手続きとなりますので、お電話・マイページ上・ホームページ上にて用紙をご請求ください。

特定口座の源泉徴収区分の変更について

特定口座をご利用いただいているお客様の、2027年適用分源泉徴収区分の変更受付を開始しております。
「源泉徴収あり・なし」の変更をご希望のお客様は、**2026年12月1日（火）まで**に、お電話にて「特定口座源泉徴収選択届出書」をご請求ください。
（特定口座源泉徴収選択届出書の提出締切日：2026年12月30日（水）必着）

■ご注意■
・源泉徴収区分の変更は、2027年中の解約や配当金等の受入れの受渡完了後は変更できません。
・源泉徴収区分は、お客様からのお申し出がない場合は、前年の区分が継続されます。



株式会社パリミキアセットマネジメント　お客様サポートチーム
（受付時間：平日9:00～17:00）
お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968
E-mail: support@pmam.co.jp

ファンドにかかわるリスク

当社ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。
投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。
基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。
リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
■当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
■当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

設定・運用・販売は株式会社パリミキアセットマネジメント／金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第2727号
加入協会　一般社団法人 資産運用業協会

PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT